

会議議事録

会議名	第3回学校関係者評価委員会	
開催日時	2018年2月11日(日) 10:00～11:30	
開催場所	彰栄リハビリテーション専門学校 会議室	
参加委員	参加者9名	工藤秀機、佐藤太智郎、原島宏明、林導典、浦田祐美子 帆苺猛、山下輝彦、芦野裕一、長原将士
	欠席者0名	
配付資料	1. 2017年度学校関係者評価委員会委員名簿	
会議録	<p>1. 校長挨拶(山下) 開会の挨拶。</p> <p>2. 理事長挨拶(帆苺) 帆苺猛理事長から挨拶。</p> <p>3. 委員長挨拶(工藤) 工藤秀機先生から挨拶。</p> <p>4. 今年度の報告(山下) 専門職大学及び専門職短期大学の設置基準が、2017年9月29日に告示されました。その設置基準を検討するため、文科省へ相談に伺いましたが、具体的な指導もなく、抽象的な説明に終始いたしました。結果として、専門職短期大学への初年度移行は、あきらめることにいたしました。</p> <p>2017年8月9日の臨時理事会において、2019年度理学療法学科昼間部増設の承認を得て、新校舎建設及び人事などを含み準備をしています。</p> <p>昼間部3年生及び夜間部4年生の臨床実習Ⅱ(2017年6月26日～10月28日)は、体調不良などで一部の脱落者を除いて、無事終了しました。</p> <p>国家試験(2018年2月25日)に向けて、国試対策セミナーを福岡から中島雅美先生を招聘して、11月11日～13日に開催されました。中島先生のパワーある国試対策指導を受けて、学生たちも国試勉強に火がついたような気がいたします。</p> <p>作業療法学科昼間部が、専門実践教育訓練給付金の再指定を受けました。(3年間)</p> <p>各種学校行事は、すべて予定どおり行われております。</p> <p>臨床実習指導者会議は、2017年6月2日及び12月1日の2回開催し、学校の方針などを説明して実習指導をお願いしました。</p> <p>2019年度入学状況ですが、現時点では昼間部40名の定員充足、夜間部31名となっております。残りの入試は、2月及び3月の2回となります。</p>	

5. 意見交換

(1) 専門職短期大学設置について本校としては、他校の認可状況を含め、しばらく様子を見ようと考えている。他の大学を含め、その傾向が強いようである。また、既存の大学については、学科の新設に対して専門職大学を利用するとの情報もある。

(2) 理学療法学科昼間部増設については、2019年度を目指して準備を進めているが、カリキュラム及び備品等の改正が2020年度のため、2019年度増設には様々なマイナス要素が浮上しているため、増設年度については、再度3月の理事会にて検討する予定となっている。

(3) 言語聴覚学科夜間部増設についても、現在検討中である。言語聴覚士は、認知度等の問題から資格取得者が少ないため、現場ではまだまだ人手不足となっている。よって、ニーズは高いのは間違いないが、課題としてはいかに認知度を上げていくかである。
(言語聴覚士とは、どのような仕事をするのか。どのような現場で必要とされているのか等。)

本校としては、言語聴覚学科夜間部を増設することにより、作業療法士、理学療法士及び言語聴覚士というリハビリ専門職の総合カレッジを目指したい。また、言語聴覚学科夜間部の入学資格を大卒以上とすることで、修業年限が2年制で設置できる。このことにより、全学科を総合すると修業年限が2年制、3年制及び4年制の3種となり、社会人を中心とした入学者がよりよい選択ができるのではないかと考えている。今後更に調査を進め、理事会にて検討する予定となっている。

6. 次回の日程について（長原）

次回の日程が提案され、第1回学校関係者評価委員会を2018年6月10日（日）10:00～11:30にて開催することが決定した。

また、詳細については、後日連絡することが確認された。

7. 閉会